

## Clipchamp で動画を編集する

Clipchamp は Windows に最初から付属している純正の動画編集アプリで、動画編集に慣れていない初心者でも短時間でやり方を覚えられる最もお勧めのアプリです。ここでは、Clipchamp を使って、自分が撮影した動画や写真などを使った動画編集のやり方を学習しましょう。

### 1 動画編集に使う素材の準備

#### (1) 自分で撮影した写真や動画を使う

これまでに自分が撮影して PC に保存しているデータを使います。もしくは、新たにスマホやデジカメで撮影して用意します。

#### (2) 無料（フリー）の写真や動画を使う








インターネット上にアップロードされている無料（フリー）の素材を使うことも可能です。例えば、無料の素材提供サイト「pixabay」では、会員登録不要で写真や動画、音楽などを無制限にダウンロードして使うことができます。

- ① 次の URL から「pixabay」にアクセスして、好きな写真や動画をダウンロードしましょう。

<https://pixabay.com/ja/>

Edge と Chrome ではなぜか表示できませんでした。Firefox だと問題なく表示できます。

- ② ここでは、動画作成の素材として 2 枚の写真と個の動画をダウンロードして、1 つのフォルダーにまとめて保存しました。

	①モンシロチョウ (タイトル) .jpg	種類: JPG ファイル 大きさ: 640 x 427	サイズ: 52.2 KB
	②キアゲハ (エンディング) .jpg	種類: JPG ファイル 大きさ: 640 x 427	サイズ: 21.7 KB
	③ゴマダラチョウ.mp4 長さ: 00:00:15	フレーム高: 360 フレーム幅: 640	更新日時: 2024/08/24 21:56 サイズ: 991 KB
	④クジャクチョウ.mp4 長さ: 00:00:08	フレーム高: 720 フレーム幅: 1280	更新日時: 2024/08/24 22:00 サイズ: 1.85 MB
	⑤シロオビアゲハ.mp4 長さ: 00:00:08	フレーム高: 360 フレーム幅: 640	更新日時: 2024/08/24 22:02 サイズ: 610 KB
	⑥ベニシジミ.mp4 長さ: 00:00:10	フレーム高: 540 フレーム幅: 1080	更新日時: 2024/08/24 22:06 サイズ: 787 KB
	⑦アカマダラ.mp4 長さ: 00:00:25	フレーム高: 360 フレーム幅: 640	更新日時: 2024/08/24 22:08 サイズ: 1.42 MB

計 6 6 秒

合計 5,731.9KB

※動画に映っている蝶の名前が不明の場合は、動画内の蝶が映っている 1 場面を静止画像として適宜の場所に保存した後、Google の画像検索 (Google レンズ) を使って検索するのが便利です。

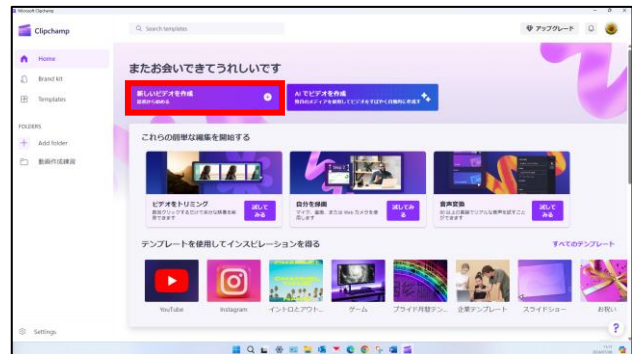
## 2 新しい動画の作成

### (1) [Microsoft Clipchamp]の起動

スタートボタンの「すべてのアプリ」から[Microsoft Clipchamp]をクリックして開きます。

### (2) 新規動画の作成

- ① 初めて動画を作成する場合は、[新しいビデオを作成]をクリックします。
- ② [無題の動画]という編集画面になります。ここで動画のタイトルを適当な名前(※ここでは[美しい蝶の舞い])に変えます。



### (3) 動画の編集画面

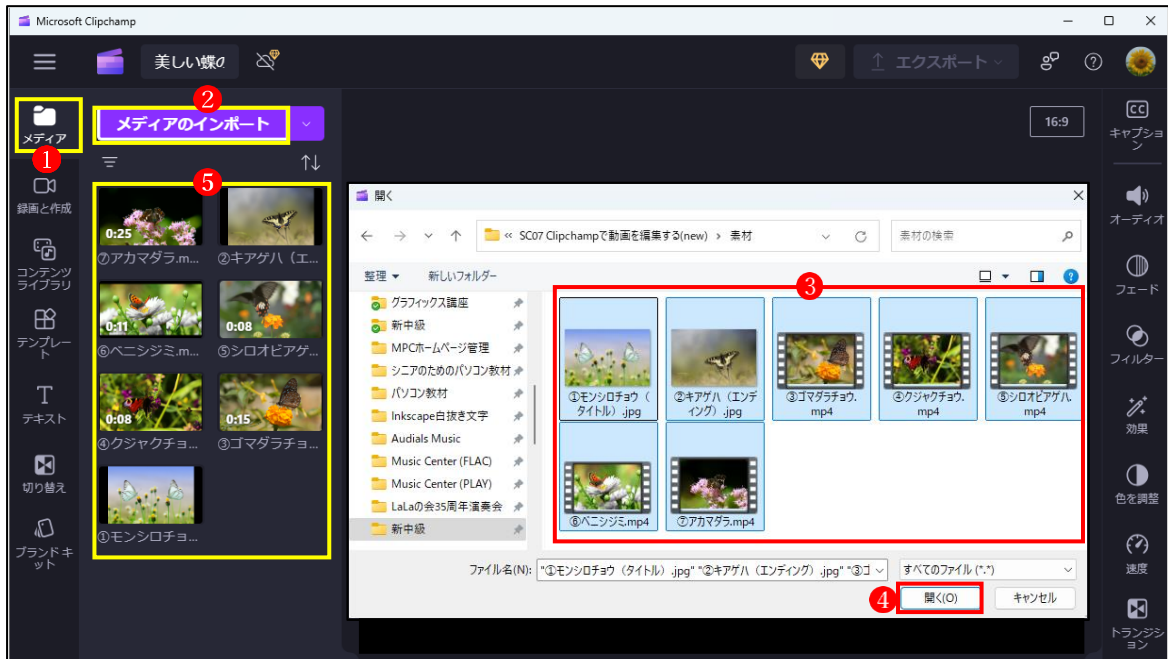
動画の編集画面は、次のように構成されています。



- ① 動画の編集画面は、左右に[ツールバー]①があり、画面中央の操作画面の上部に[プレビュー画面]②、下部に[タイムライン]③があります。
- ② [メディア]ボタン④をクリックしたときに開かれるオプションを[メディアライブラリー]⑤といい、動画づくりに使う素材(動画や画像など)はここにインポートしておきます。
- ③ 動画作りに使う素材のことを[アセット]といい、アセットには、動画ファイル・画像ファイル・音声ファイル・テキスト・トランジションなど、いろいろなものがあります。なお、アセットの一つ一つを[クリップ]と呼びます。
- ④ 動画編集は、メディアライブラリーに読み込まれたクリップをタイムラインにコピーし、それをカットしたり組み合わせたりして、プレビュー画面で確認しながら行います。

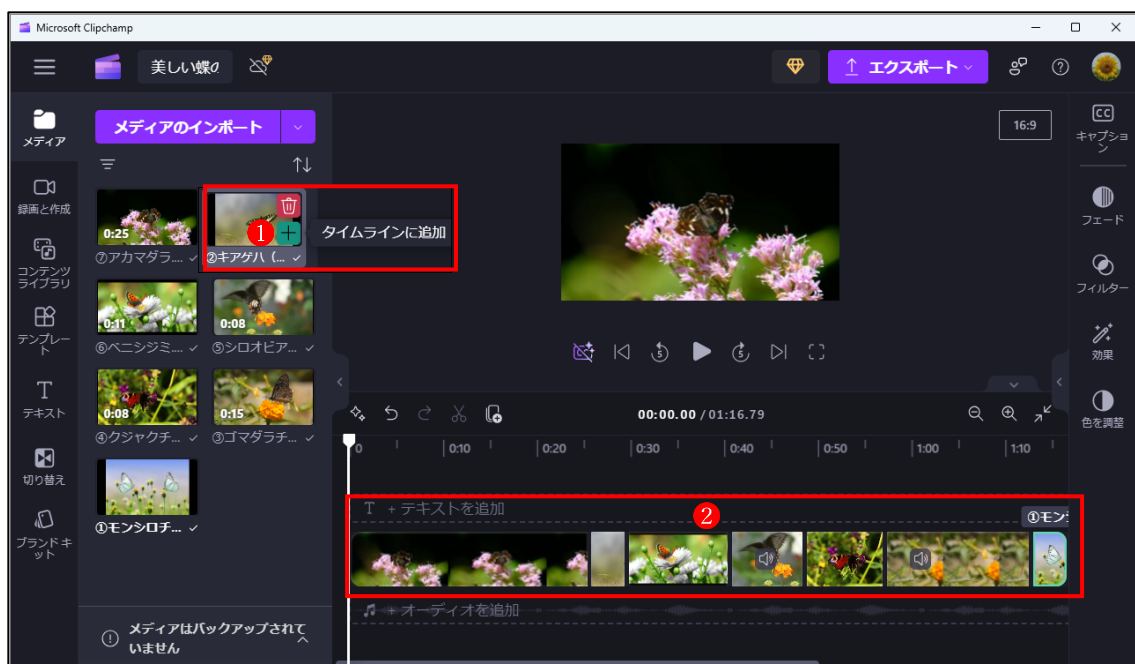
#### (4) メディアのインポート

準備した素材（動画や写真）をメディアライブラリーにインポートします。



- ① ツールバーの[メディア]①をクリック、次に[メディアのインポート]②をクリックします。
  - ② 素材（動画や写真）が入っているフォルダーを開き、インポートする素材③を選択し、[開く]ボタン④をクリックします。
  - ③ 2枚の写真と5個の動画ファイルが[メディアラ②ブラリー]にインポートされます⑤。
- (5) クリップをタイムラインに取り込む

- ① メディアライブラリー上の取り込みたいクリップにマウスポインターを合わせると、**+**マーク①が現れるので、そのマークをクリックすると、クリップが[タイムライン]にコピーされます。また、クリップをタイムライン上にドラッグしてコピーすることもできます。  
※ここでは、2枚の写真と5個の動画をタイムライン上にコピーしました③。



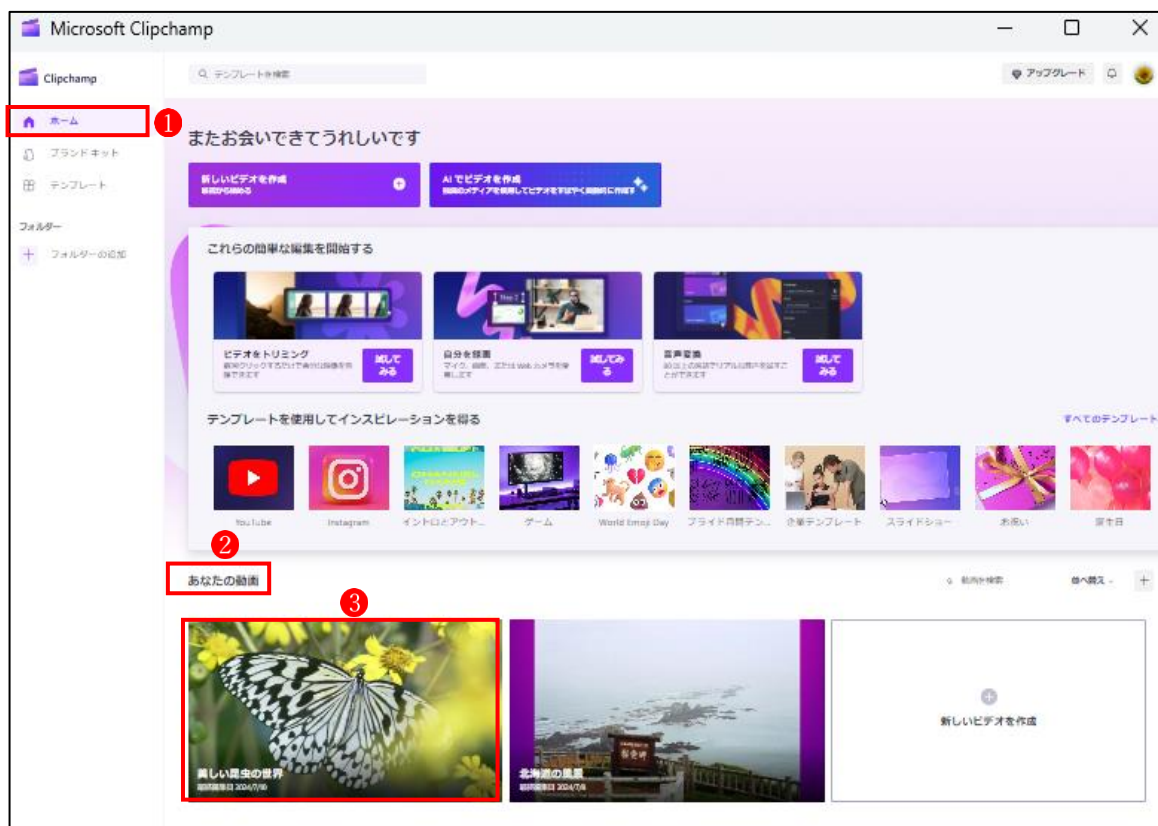
## (6) プロジェクトの保存

- ① Clipchamp では、動画の編集を途中で編集作業を中断すると1つの[プロジェクト]としてクラウド上（※ユーザー毎の容量制限はありません。）に自動的に保存されるので、[名前を付けて保存]や[保存（上書き保存）]の操作を行う必要がありません。従って、常に前回作業を中断した時点の状態がクラウド上に保存されているので、次に同じプロジェクトを再開したときは、前回作業を中断したところから編集作業を続けることができます。
- ② ただし、プロジェクトには作業を中断した時点の状態は保存されていますが、ユーザーが使用した素材のファイルは保存されていないので、作業を中断したときに使っていた素材のファイルを削除したり、別の場所（フォルダー）に移動したり、ファイルの名前を変えたりするとアクセスできなくなります。その場合は、再度、そのメディアをインポートするように求められますので（再リンクの要請）、そのメディアの在りかをしっかり把握しておく必要があります。
- ③ なお、「Clipchamp Premium」にアップグレードすれば、メディアファイルもクラウド上にバックアップしてくれるので②の心配はなくなりますが、有料（月払いまたは年払い）になります。

## 3 プロジェクトの編集作業の開始

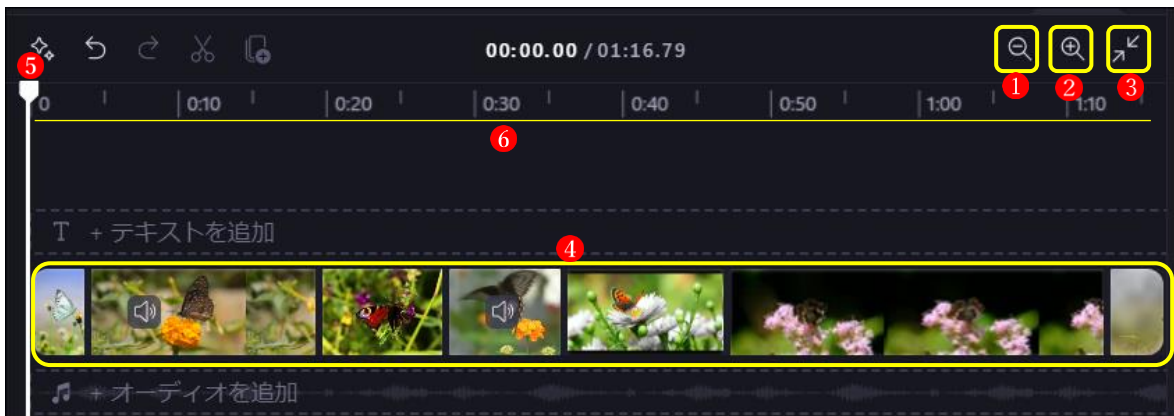
### (1) プロジェクトを開く

プロジェクトを開くには、Clipchamp を起動し、[ホーム画面]①を下の方にスクロールし、[あなたの動画]②に表示されているプロジェクトの中から編集を再開したいプロジェクト③をクリックして開きます。（※ここでは、「美しい蝶の舞い」をクリックします。）



## (2) タイムライン上の画像の表示方法

タイムライン上の画像の表示方法は次のとおりです。



- ① [ズームアウト]ボタン ①  
タイムライン上にあるすべての画像を一律に縮小します。
- ② [ズームイン]ボタン ②  
タイムライン上にあるすべての画像を一律に拡大します。はみ出した画像は右側の方に消えていきます。
- ③ [画面に合わせてズーム]ボタン ③  
タイムライン上にあるすべての画像がすべて収まるように縮小・拡大します。
- ④ タイムライン上の画像 ④  
[ズームアウト]ボタン、[ズームイン]ボタン、[画面に合わせてズーム]ボタンをクリックすることで、縮小したり拡大したりと表示が変わります。
- ⑤ [タイムラインカーソル] ⑤  
タイムラインカーソルの下にある画像が編集の対象になります。
- ⑥ [時間軸] ⑥  
開始からの時間を[分・秒]で表します。

## (3) 画像（動画）を表示したい順に並べ替える

画像や動画は、編集を始める前に、最初から表示させたい順に並べ替えておきます。クリップ（画像や動画）は、ドラッグして自由に移動させることができます。

（※ここでは、タイトル画像をトップに配置し、エンディング画像を最後に配置します。動画はその間に表示させたい順に配置します。）

## 4 編集作業その1（コピーしたクリップの不要な部分をカットする）

### (1) 動画クリップの前後の部分をカットする

動画クリップの前後の部分は unnecessary 部分が含まれていることが多いので、プレビュー画面で確認しながら unnecessary 部分をカットします。



- ① マウスポインターをクリップの先頭部分に合わせて、ポインターの形が[↔]になったら右側①にドラッグします。
- ② マウスポインターをクリップの最後の部分に合わせて、ポインターの形が[↔]になったら左側②にドラッグします。
- ③ カットされた部分は黒い空白になるので、マウスポインターを合わせると表示される[ゴミ箱]アイコン③をクリックします。これで、黒い空白部分が削除されて右側部分が左に寄せられます。

(2) クリップの途中の部分をカットする

- ① タイムラインカーソルをクリップの削除したい部分の先頭部分①に置き、はさみの形をした[スプリット]ボタン②をクリックします。
- ② タイムラインカーソルをクリップの削除したい部分の最後の部分③に置き、[スプリット]ボタン②をクリックします。
- ③ クリップの削除する部分④をクリックし、続いてキーボードの>Delete]キーを押します。
- ④ カットされた部分は黒い空白になるので、マウスポインターを合わせると表示される[ゴミ箱]ボタンをクリックします。



5 編集作業その2 (クリップにテロップを入れる)

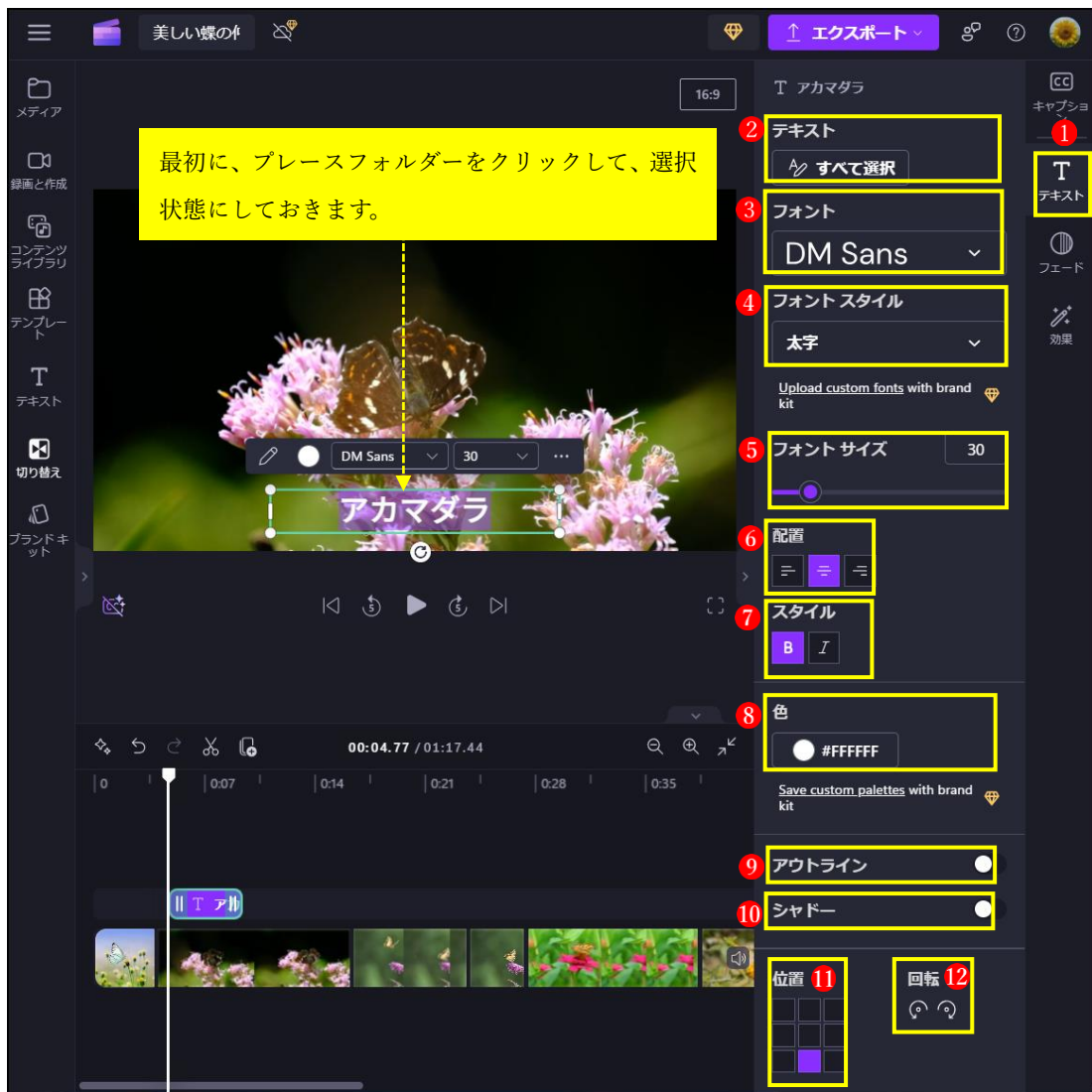
(1) クリップにテロップを入れる

- ① ツールバーの[テキスト]ボタン①をクリックします。
- ② オプションの[テキスト]にマウスポインターを合わせるとボタン②が現れるので、このボタンをクリックします。
- ③ タイムラインに[テキストクリップ]③が挿入されます。



- ④ [タイムラインカーソル]④をテキストクリップの上に移動し、テキストクリップをクリックすると、プレビュー画面に[プレースホルダー]⑤が表示されます。
- ⑤ [プレースホルダー]⑤文字をダブルクリックすると、プレースホルダーの背景が紫色に変化し、文字が入力できる状態になります。[ここにテキストを追加します]の文字を削除し、テロップにしたい文字を入力します。

## (2) テロップ文字の編集



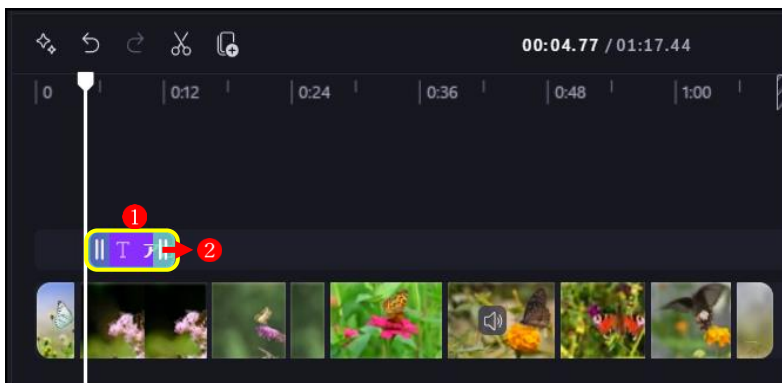
- ① プレースホルダーをクリックして選択状態にしておき、ツールバーの[テキスト]ボタン<sup>①</sup>をクリックすると、ツールバーの左側に各種[オプション]が表示されます。
- ② オプションの[テキスト]<sup>②</sup>で[すべてを選択]にすると、テキストの背景が紫色になり、文字を自由に変更できるようになります。
- ③ [フォント]<sup>③</sup>は、各種のフォントが選べるようになったが、日本語対応のフォントは少ない。(※ここでは、デフォルトの[DM Sans]にしておきます。)
- ④ [フォントスタイル]<sup>④</sup>では、[通常]・[ミディアム]・[太字]の中から選択することができます。(※ここでは、[太字]を選択しておきます。)
- ⑤ [フォントサイズ]<sup>⑤</sup>では、サイズ欄に直接数値を入力するか、下にあるスライダーを使って変更することができます。(※ここでは、[32]ポイントにします)
- ⑥ [配置]<sup>⑥</sup>では、[左揃え]・[中央揃え]・[右揃え]の中から選択することができます。(※ここでは、デフォルトの[中央揃え]のままにします。)
- ⑦ [スタイル]<sup>⑦</sup>では、[太字]・[斜字]の中から選択することができます。(※ここでは、④で[太字]を選択したので、ここは自動的に[太字]になっています。)

- ⑧ [色] ⑧では、24種類の色を選択ができ、それぞれの色について5段階の明度変更もできます。また、カラーパレットを開いて、自由に好きな色を作成して使うこともできます。  
(※ここでは、デフォルトの[白]のままにします。)
- ⑨ [アウトライン] ⑨では、機能をオンにすると、文字に色の輪郭をつけることができます。  
(※ここでは、[オフ]にします。)
- ⑩ [シャドウ] ⑩では、機能をオンにすると、文字に色のついた影をつけることができます。  
(※ここでは、[オフ]にします。)
- ⑪ [位置] ⑪では、テキストを画面のどの位置に配置するかを選択することができます。  
(※ここでは、[下段中央]に配置します。)
- ⑫ [回転] ⑫では、テキストを右回りまたは左回りに90度回転することができます。  
(※ここでは、使用しません。)

★ テキストクリップを選択状態にすると、[テキスト編集ツールバー]が表示されるようになり、ここでも、テキストの編集、色の変更、フォントサイズの変更など多くのことが行えるようになりました。



### (3) テロップの開始位置と長さ

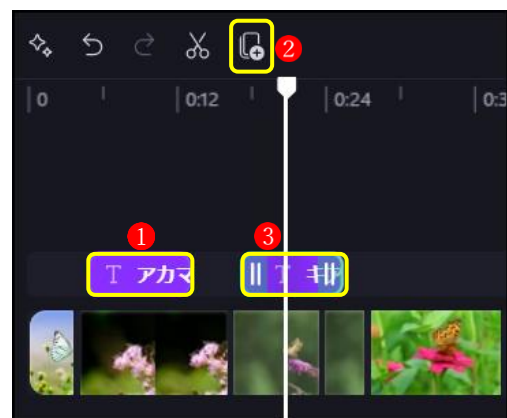


- ① テロップは、タイムラインの動画クリップの上に配置します。テキストクリップ ①をドラッグして、テロップの表示を開始したい位置に配置します。
- ② テロップを表示する時間は、テキストクリップの右端を左右にドラッグ ②することにより調整することができます。

### (4) すべての動画クリップにテロップをつける

テキストクリップは、先に作成したクリップをコピーして使うと効率的です。

- ① コピー元のテキストクリップ ①を選択します。
- ② [複製]ボタン ②をクリックします。
- ③ テキストクリップの複製 ③が作成されます。
- ④ 次のクリップのテロップ開始位置までドラッグします。
- ⑤ テキスト文字を変更します。

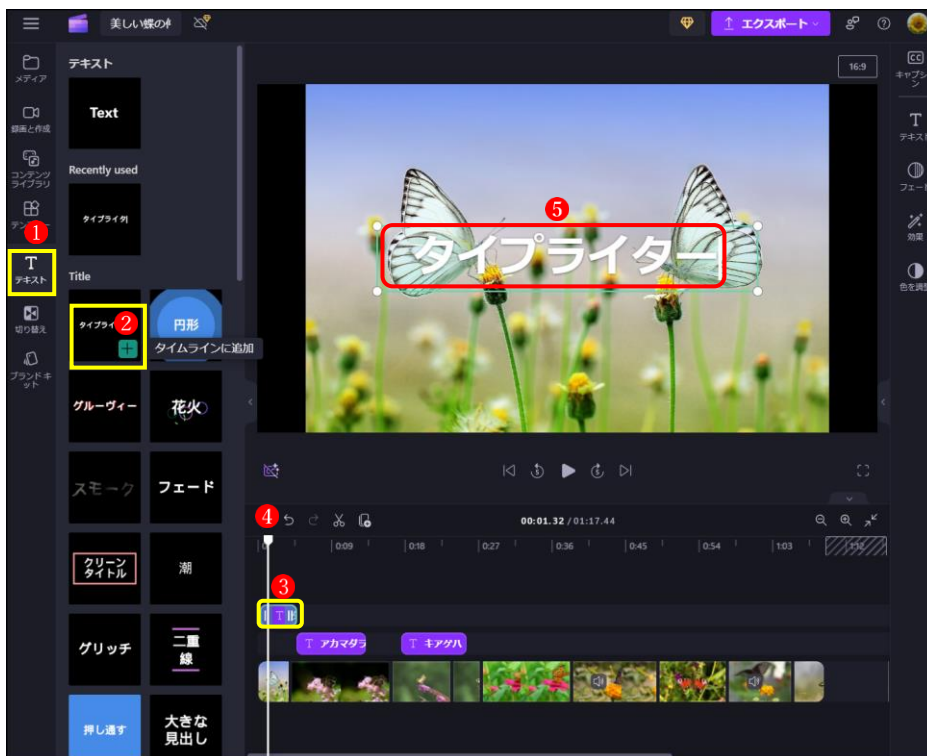




## 6 編集作業その3 (動画にタイトル画像を挿入する)

動画の先頭にタイトルを挿入します。また、動画の最後にはエンドロールを挿入します。

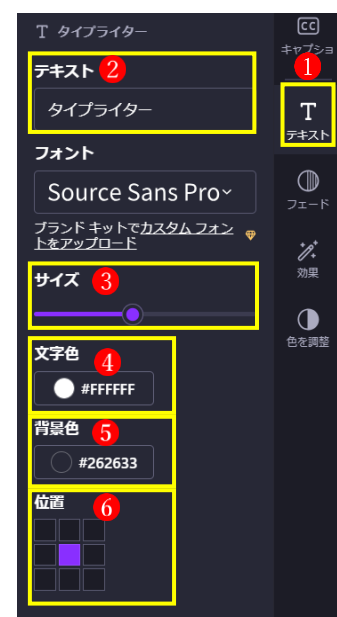
### (1) 先頭の画像にタイトルを付ける



- ① タイムラインカーソルを先頭の写真クリップの上に配置しておきます。
- ② ツールバーの[テキスト]①をクリックすると、[Title]テンプレートの中からタイトルにしたいものを選択します。(※ここでは、[タイプライター]②を選択します。)
- ③ タイムラインに[タイプライター]のテキストクリップ③が追加されます。
- ④ タイムラインカーソル④をテキストクリップの上に合わせると、プレビュー画面に[タイプライター]という文字の入ったプレースホルダー⑤が表示されます。

### (2) タイトルを編集する

- ① タイトルの編集は、ツールバーの[テキスト]①をクリックして表示されるオプションで行います。
- ② [テキスト]②のボックス内でタイトルを変更(※ここでは[美しい蝶の舞い])します。
- ③ [サイズ]③で、スライダーを使ってテキストのサイズを適宜の大きさに変更します。
- ④ [文字色]④で、文字の色を変更できます。(※ここでは、文字色を[黄色]にします。)
- ⑤ [背景色]⑤で、文字の背景の色を変更できます。(※ここでは、デフォルトの[透明]のままにします。)
- ⑥ [位置]⑥で、タイトルを配置する位置を設定できます。(※ここでは、デフォルトの[中央]にします。)



(3) タイトルにその他の効果を付ける

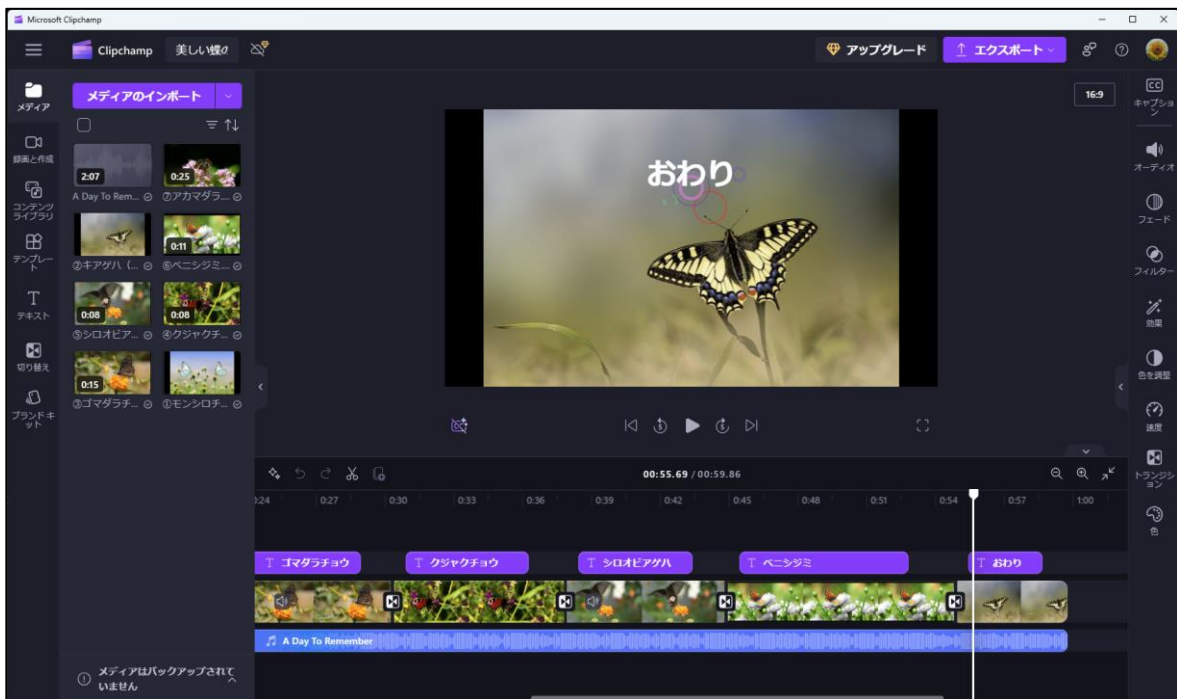
- ① ツールバーの[効果] ① をクリックすると、26 種類の効果テンプレートが表示されます。テンプレートの上にマウスポインターを合わせると、実際の効果がプレビュー画面で確認できます。
- ② 効果の中から好きなものを選択してクリックします。  
(※ここでは、[カラーシフト] ② を設定します。)
- ③ 効果は複数のテンプレートを組み合わせて設定することが可能です。設定した効果をやめたい場合は、当該テンプレートを再度クリックします。



(4) エンドロールを作成する

上記のタイトルの編集作業に準じてエンドロールを作成します。

(※Title[花火]・テキスト[おわり]・フォント[DM Sans]・フォントサイズ[適宜]・文字色[白]・位置[上段中央]にします。)



## 7 編集作業その4（動画に切替効果を付ける）

編集作業では動画をつないでいきますが、クリップとクリップのつなぎ目に切り替えの特殊効果を付けることができます。

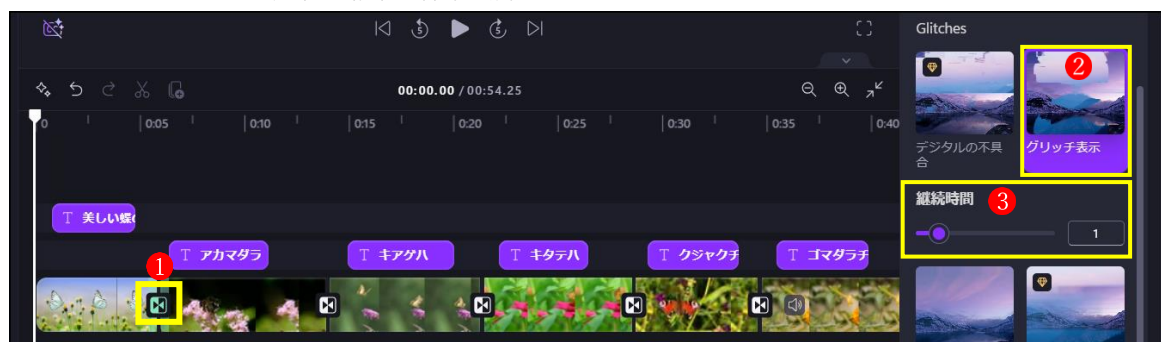
### (1) 動画と動画の間にトランジション（切替効果）を付ける


- ① 左側のツールバーにある[切り替え]ボタン①をクリックします。
- ② 一覧から好きなトランジション（※ここでは[グリッチ表示]②を選択）を選んで、トランジションを挿入したい動画と動画のつなぎ目にドラッグ③していきます。
- ③ 目的のつなぎ目のところに[+]のマーク④が現れ、[トランジションを追加]の文字が表示されたら、その上でトランジションをドロップします。+のマークが[+]に変わります。なお、そのトランジションが気に入らなかった場合は、別のトランジションを[+]のマークの上にドラッグすれば、自動的に更新されます。
- ④ 他の動画と動画のつなぎ目にも同様にしてトランジションを付けます。



### (2) トランジションの変更と継続時間の調整

トランジションは、効果の継続時間を調整することができます。



- ① 編集したいトランジションのマーク①を選択します。
- ② 右側のツールバーの[トランジション]をクリックします。
- ③ 今適用されているトランジション②をクリックすると、その下に[継続時間]③が表示されているので、紫色のスライダーを左右にスライドして継続時間を調整することができます。  
(※ここでは、デフォルトの[1秒]のままにします。)

## 8 編集作業その5（動画に音楽を付ける）

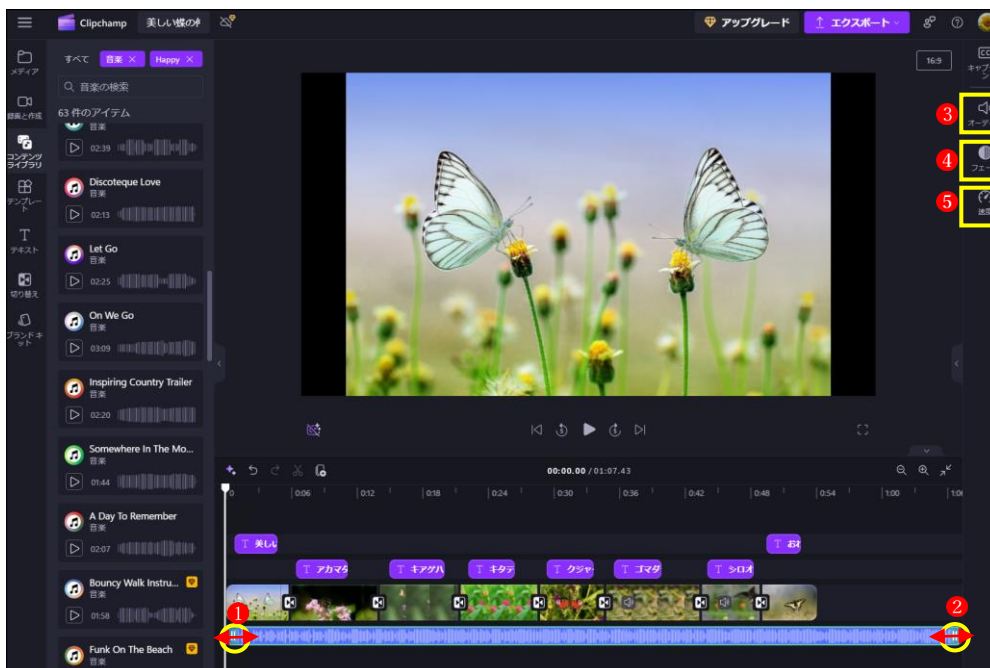
動画に音楽や効果音を付けることもできます。

### (1) 音楽を選択してタイムラインに挿入する

- ① 左側のツールバーから[コンテンツライブラリー]ボタンをクリックします。
- ② [オーディオ]をクリックします。
- ③ [音楽]をクリックします。
- ④ 音楽の[コレクション]の一覧が表示されます。
- ④ [コレクション]の中から1つ (※ここでは[Happy]) を選択します。
- ⑤ アイテムが表示されるので、その中から編集中の動画に合いそうなアイテムを探してクリックします。(※ここでは、[A Day To Remember]を選択します。)
- ⑥ 選択したサンプル音楽が再生されはじめ、継続時間や種類（有料か無料か）などの情報が一緒に表示されます。
- ⑦ このサンプル音楽を使う場合は、[+タイムラインに追加] をクリックします。
- ⑧ サンプル音楽がタイムラインに挿入されます。

### (2) 挿入した音楽を編集する

挿入した音楽は、動画に合わせて長さを調整します。また、音量やフェードの設定、再生速度の変更ができます。

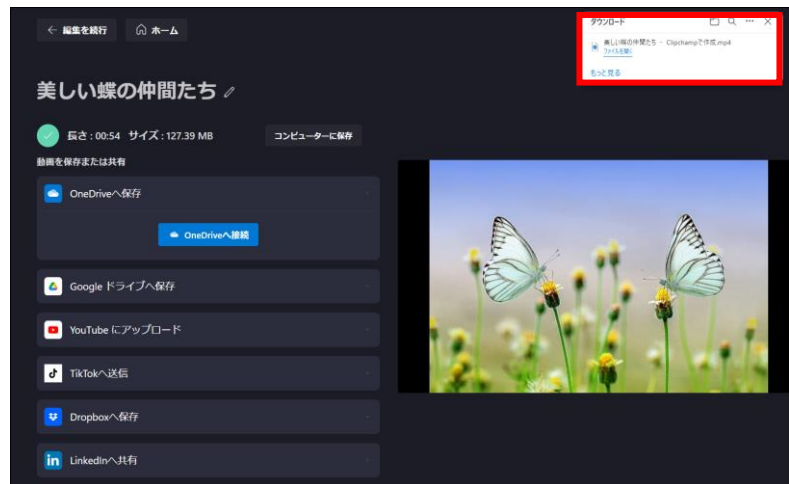


- ① タイムラインに挿入された音楽の最初①と最後②の部分をドラッグして音楽を再する時間の長さを調整します。
- ② ツールバーの[オーディオ]③をクリックして音量を調整します。  
(※ここでは[100%]にします。)
- ③ ツールバーの[フェード]④をクリックして、フェードイン、フェードアウトの設定ができます。(※ここでは、フェードイン、フェードアウトともに[1秒]に設定します。)
- ④ ツールバーの[速度]⑤をクリックして、再生速度の設定ができます。  
(※ここでは、デフォルトの[1x]にしておきます。)

## 9 エクスポートする

プロジェクトからエクスポートして動画を作成します。

- ① 画面上部右側にある[エクスポート]ボタンをクリックします。
- ② 画質を選択します。  
YouTube に投稿する場合は、[1080 p] を選択します。  
高画質でなくてもよいのであれば、[720p]や[480 p]でもよいでしょう。(※ここでは、[1080 p]にします。)
- ③ 画質を選択してクリックすると、エクスポート処理が始まります。
- ④ 作成された動画は、[ダウンロード]フォルダーに保存されます。



- ⑤ エクスポートされて[ダウンロード]フォルダーに保存されている動画ファイル「美しい蝶の舞い - Clipchamp で作成.mp4」(※自動で名前が付けられます。)をダブルクリックすると、作成された動画が再生されます。

